

K

yoto

P

olicy

I

nstitute

2012・2013

No. 5

12・1月号

発効日 2013年1月1日

京都政策研究センター

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町 1-5

TEL&FAX: 075-703-5319 E-mail: kpiinfo@kpu.ac.jp

*セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。
ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

連続自治体特別企画セミナーのお知らせ

◆第5回 1月17日(木) 午後3時~5時15分 場所: 京都府立大学2号館26教室

『文化が創造する都市の未来』

「無縁から、結縁へ〜地域資源としてのお寺を活かす」報告者 秋田 光彦氏(浄土宗應典院代表/大連寺住職

/パドマ幼稚園園長)

「創造都市の時代」

講師 佐々木雅幸氏(大阪市立大学大学院創造都市研究科教授

/大阪市立大学都市研究プラザ所長)

「世界のNPOの原点は日本の古寺にある」と明言したのは、P・F・ドラッカーですが、かつてお寺は「学び・楽しみ・癒し」の場であり、人々が気軽に集う場、つまり、開かれた公共空間でした。それがいつのまにかにそうした本来のお寺機能を失い、檀家さんのためだけの閉じられたお寺ばかりになってしまいました。そうした中、お隣の大阪では「檀家・葬式・法事ゼロ」、それでいて若者が日本一集まるお寺が誕生し、古くて新しい公共空間が再興されつつあります。

ところで、創造都市とは一体なんなのでしょうか。それは「人間の創造活動の自由な発揮に基づいて、文化と産業における創造性に富み、同時に、脱大量生産の革新的で柔軟な都市経済システムを備えた都市」と定義づけられています。--創造都市とお寺。この一見遠い存在に見える両者の間には、実は共通点、そして、これからの都市のヒントが隠されています。今回のセミナーでは、この分野のトップランナーの実践家、研究者を招聘し、皆さんと一緒に「文化が創造する都市の未来」について考えます。

京都府知事賞受賞のお知らせ

2012年12月2日、公共政策学研究科2回生の茂箆(もろ)秀敏さん(府より派遣)が、大学コンソーシアム京都主催の第8回政策系大学・大学院研究交流大会「京都から伝えよう学生の想い」において、見事「京都府知事賞」を受賞されました。茂箆さんは『木質バイオマスを活用したエネルギー創出による地域活性化策ーエネルギーの地産地消のしくみの構築への提案ー』というテーマで政策提案を行い、大きな評価を受けました。彼は、KPIが2012年2月に開催した第2回震災復興セミナーで東北芸工大の三浦先生からオーストリアの取り組みを聞いてこのテーマに関心を持ちました。林業の低迷にあえぐ中山間地域の森林活用、雇用創出において起死回生策になる可能性も秘めています。



上・左) チップの山の前で熱心に説明を聞く茂箆さん(右)

上・右) 運び込まれた木材とそれをチップにした山、右手の建物がエネルギープラントの一部

下・左) 地域住民が出資したバイオガスプラントの前で

下・右) 地元住民が出資した熱供給システムの説明を熱心に聴く青山先生(右)

京都環境文化学術フォーラムを開催します！

『京都の知恵と文化を世界に～グローバルコモンズを目指して～』 at 国立京都国際会館

平成25年2月16日(土)

午後2時～5時30分 スペシャルセッション

平成25年2月17日(日)

午後1時～2時15分 KYOTO 地球環境の殿堂 表彰式

午後2時30分～5時 国際シンポジウム

平成25年2月16日(土)、17日(日)、国立京都国際会館にて第4回目となる「京都環境文化学術フォーラム」を、『京都の知恵と文化を世界に～グローバルコモンズを目指して～』と題して開催いたします。2日目の国際シンポジウムでは、ヴァンダナ・シヴァ氏(環境活動家・物理学者)やバルビス・クーハフカン氏(前 FAO 土地・水資源部長)らをパネリストにパネルディスカッションを行います。

京都府立大学(京都政策研究センター)は、「京都環境文化学術フォーラム」の構成団体として参画しています。

日英同時通訳あり

入場無料

★今年度の詳細や参加申し込み方法につきましては、「第4回 KYOTO 地球環境の殿堂 表彰式・京都環境文化学術フォーラム」ホームページ(<http://www.earth-kyoto.jp>)をご覧ください。

※昨年度は、『グローバルコモンズを目指して～東日本大震災の経験から考える未来へ～』をテーマに、初日にスペシャルセッションを、2日目に国際シンポジウムを開催しました。昨年度のスペシャルセッションの内容については、京都政策研究センターのホームページをご覧ください。

みなさまのご来場をお待ちしております！

中間報告

「京都府の労働福祉施設の有効活用についての調査研究」(協働研究)

↓千代田区プラットフォームスクエアの入口とオフィススペース

現在、京都府との協働研究の1つとして、労政・人材育成課が所管している労働福祉関連施設の有効活用について調査・研究しています。本研究に関して、東京都千代田区にある「千代田プラットフォームスクエア」、東京都日野市にある「日野市勤労・青年会館」に調査に行って参りました。

千代田区プラットフォームスクエアでは、江戸時代からあった「家守(やもり)」という発想を取り入れ、入居者同士のネットワークや絆を作る取り組みを、日野市では「コミュニティ・コンシェルジュ」をミッションに掲げ、ハードからソフトに至るまで幅広い事業を実施していました。地域の特性は違えど、先進事例を学び、京都府の労働福祉関連施設の今後のあり方について、まだまだ深めていきたいと思っています。

日野市勤労・青年会館の掲示板↑



Happy Holidays & Happy New Year!! ん?何か変?と思う方も多いかもしれません。日本ではA Happy New Yearと書くのが一般的に思われていますが、Happy New Yearとだけ書く場合はAをつけないのが通例です。今年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年11月に名古屋から京都(上賀茂)に引っ越してきました。京都に来て水のおいしさを感じています。やはりおいしい料理にはおいしい水でしょうか。京都政策研究センターも4年目に入りました。これからが正念場です。皆様の力強いお力添え(おいしい水)をお願いいたします。

(センター長 青山公三)

* KPI リレーコラム *